

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本調剤株式会社

コード番号 3341 URL <http://www.nicho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三津原 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 伊藤 善博

TEL 03-6810-0800

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	72,743	14.6	2,438	57.3	2,135	70.1	1,009	338.9
21年3月期第3四半期	63,476	—	1,550	—	1,255	—	230	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	138.02	—
21年3月期第3四半期	31.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	62,557	11,406	18.2	1,558.89
21年3月期	57,077	10,725	18.8	1,465.87

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 11,406百万円 21年3月期 10,725百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	20.00	—		
22年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,502	12.4	3,008	35.6	2,609	44.8	1,351	221.2	184.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 8,012,000株 21年3月期 8,012,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 695,004株 21年3月期 695,004株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 7,316,996株 21年3月期第3四半期 7,413,287株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成21年10月～12月）における我が国経済は、世界的な経済危機状況から穏やかに回復傾向へと移行しているものの、依然、国内の個人消費は低迷したまま推移しており、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

医薬品・調剤業界におきましては、本年4月の薬価改定、診療報酬改定などの医療制度各施策改定に向けての議論が始まっており、4月以降、医療費抑制を背景とした公定価格である薬価の大幅ダウン等が予想され、来年度に向けての医薬品販売市場を取り巻く環境は一層厳しいものと思われまます。

こうした状況下、当社グループの当第3四半期累計期間の連結業績は、引き続き主力である調剤薬局事業を中心に順調に推移いたしました。売上高72,743百万円（対前年同期比14.6%増）と増収となりました。

また利益面においては、営業利益2,438百万円（対前年同期比57.3%増）、経常利益2,135百万円（対前年同期比70.1%増）、四半期純利益1,009百万円（対前年同期比338.9%増）と、増益傾向を維持しております。

（1）事業セグメント別の概況

①調剤薬局事業

当社グループ調剤薬局の出店状況は順調に推移しており、当第3四半期においては山形県1店、千葉県1店、東京都3店、神奈川県3店の8店舗を新規開局いたしました。なお、当期中に静岡県1店舗の閉局があり、グループ総出店数は日本調剤275店舗、子会社9店舗の計284店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績傾向としては、既存店売上が堅調であることに加えて、前連結会計年度開局店舗のフル寄与及び当期新規開局店舗の売上寄与等があり、売上高69,513百万円（対前年同期比13.8%増）となりました。また営業利益は4,291百万円（同14.0%増）となりました。

②医薬品製造販売事業

国の医療費抑制施策であるジェネリック医薬品（後発医薬品）の製造販売を行う子会社、日本ジェネリック株式会社による同事業は、当社グループの調剤薬局向け需要をベースとして、さらに新規承認のジェネリック医薬品の販売開始等により販売品目増加を図り、着実に売上規模を拡大しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,879百万円（対前年同期比36.6%増）となり、同事業の収益性は急速な改善傾向を示し、営業損失89百万円（前年同期は690百万円の営業損失）と事業黒字化に向けて収益改善を図ってまいりました。

③労働者派遣紹介事業

株式会社メディカルリソースによる同事業においては、大都市圏での営業拠点の拡充を図り、全国8支店8営業所体制を確立、エリアごとのきめ細やかな営業体制を強化しております。当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,756百万円（対前年同期比7.4%増）、営業利益313百万円（同1.0%増）となりました。

④その他事業

製薬メーカーMR（医薬品情報担当者）向け教育研修、CSO（医薬品販売業務受託）事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26百万円（前年同期は45百万円）、営業損失2百万円（前年同期は60百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は62,557百万円となり、前連結会計年度末に対して5,479百万円、9.6%増加いたしました。流動資産は26,235百万円となり、前連結会計年度末に対して4,137百万円、18.7%の増加となりました。主な要因としては、調剤薬局事業の売上拡大に伴う売掛金の増加等であります。

固定資産は36,321百万円となり、前連結会計年度末に対して1,341百万円、3.8%の増加となりました。主な要因は、調剤薬局事業における新規開局店舗等の設備投資等であります。

負債は51,150百万円となり、前連結会計年度末に対して4,798百万円、10.4%の増加となりました。主な要因は、調剤薬局事業における売上拡大に伴う買掛金の増加であります。純資産は11,406百万円となり、前連結会計年度末に対して680百万円、6.4%の増加となりました。主な要因は利益剰余金の増加であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて1,529百万円増加して、7,235百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは3,353百万円の収入となりました。主な要因は仕入債務の増加額3,169百万円、税金等調整前四半期純利益2,004百万円等の収入、売上債権の増加額1,712百万円等の支出であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3,227百万円の支出となりました。主な要因は調剤薬局事業の新規出店展開への投資による有形固定資産の取得による支出2,251百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,403百万円の収入となりました。主な要因は長期借入金による収入10,720百万円と長期借入金の返済による支出9,114百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

主力である調剤薬局事業が処方せん単価の上昇傾向を背景に依然、好調に推移しており、当社の連結業績は引き続き堅調に推移すると予測されます。従いまして平成21年7月30日付で発表いたしました通期の連結業績予想の変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
税金費用の計算方法の変更

従来、税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しておりましたが、重要性の乏しい連結子会社を除き、第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の手法で計算する方法に変更しております。

この変更は、今後継続する複数の事業年度において連結子会社支援費用の増加により永久に損金に算入されない項目が多額に発生する見込みとなりましたが、当該支援費用の当事業年度末における発生見込額を合理的に見積もることは困難であり、その結果、見積実効税率を合理的に算定することが困難となったために行われたものであります。

なお、この変更による影響額につきましては、見積実効税率の合理的な算定が困難であり、従来の方法により税金費用を算定することが不可能であるため、記載を省略しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,235,915	5,706,857
売掛金	11,246,430	9,447,128
商品及び製品	6,400,214	5,150,769
原材料及び貯蔵品	77,323	—
その他	1,287,788	1,803,282
貸倒引当金	△12,478	△10,509
流動資産合計	26,235,192	22,097,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,944,395	6,147,946
土地	9,623,391	9,559,933
建設仮勘定	6,209,023	6,890,550
その他（純額）	1,465,077	1,106,505
有形固定資産合計	24,241,888	23,704,935
無形固定資産		
のれん	2,945,019	2,512,677
その他	1,350,189	1,182,817
無形固定資産合計	4,295,208	3,695,494
投資その他の資産		
投資有価証券	507,514	612,102
敷金及び保証金	5,045,062	4,961,677
その他	2,232,314	2,005,853
投資その他の資産合計	7,784,891	7,579,633
固定資産合計	36,321,987	34,980,063
資産合計	62,557,180	57,077,592

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,993,014	14,650,064
短期借入金	1,604,431	4,431
1年内償還予定の社債	7,000,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	4,028,313	3,464,652
未払法人税等	360,835	403,052
賞与引当金	546,267	920,702
役員賞与引当金	—	70,000
売上割戻引当金	282,527	182,652
その他	1,652,230	1,601,728
流動負債合計	33,467,620	22,797,285
固定負債		
社債	—	7,000,000
長期借入金	16,906,682	15,865,239
退職給付引当金	170,413	163,837
役員退職慰労引当金	430,977	383,840
その他	175,077	141,645
固定負債合計	17,683,151	23,554,562
負債合計	51,150,772	46,351,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953,025	3,953,025
資本剰余金	4,754,265	4,754,265
利益剰余金	4,827,331	4,110,135
自己株式	△2,040,170	△2,040,170
株主資本合計	11,494,451	10,777,254
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△88,042	△51,511
評価・換算差額等合計	△88,042	△51,511
純資産合計	11,406,408	10,725,743
負債純資産合計	62,557,180	57,077,592

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	63,476,850	72,743,208
売上原価	53,221,206	60,835,069
売上総利益	10,255,643	11,908,138
販売費及び一般管理費	8,704,824	9,469,269
営業利益	1,550,819	2,438,869
営業外収益		
受取賃貸料	77,574	99,364
その他	60,540	70,399
営業外収益合計	138,114	169,763
営業外費用		
支払利息	248,194	371,640
支払手数料	107,504	30,571
その他	78,233	71,347
営業外費用合計	433,932	473,560
経常利益	1,255,001	2,135,073
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	37,000
受取補償金	—	4,800
保険差益	18,623	—
移転補償金	44,340	—
特別利益合計	62,964	41,800
特別損失		
固定資産売却損	496	5
固定資産除却損	3,798	67,762
賃貸借契約解約損	1,172	82,382
投資有価証券評価損	9,000	—
減損損失	36,477	22,119
特別損失合計	50,944	172,270
税金等調整前四半期純利益	1,267,020	2,004,603
法人税、住民税及び事業税	—	881,225
法人税等調整額	—	113,501
法人税等合計	1,036,943	994,727
四半期純利益	230,077	1,009,876

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,267,020	2,004,603
減価償却費	977,966	1,207,164
減損損失	36,477	22,119
受取利息及び受取配当金	△12,181	△7,862
支払利息	248,194	371,640
有形固定資産売却損益 (△は益)	496	4
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△37,000
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,000	—
賃貸借契約解約損	1,172	82,382
固定資産除却損	3,798	67,762
売上債権の増減額 (△は増加)	△943,707	△1,712,585
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,794,207	△1,295,794
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,346,798	3,169,955
その他	491,745	748,827
小計	2,632,574	4,621,218
利息及び配当金の受取額	12,181	7,862
利息の支払額	△194,489	△341,788
法人税等の支払額	△2,052,782	△933,629
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,483	3,353,662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,493,638	△2,251,849
有形固定資産の売却による収入	7,645	2,010
無形固定資産の取得による支出	△344,623	△354,682
営業譲受による支出	△174,636	△99,635
投資有価証券の売却による収入	—	80,000
長期前払費用の取得による支出	△112,089	△244,901
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△293,765
貸付金の回収による収入	—	87,382
敷金及び保証金の差入による支出	△412,018	△230,507
敷金及び保証金の回収による収入	148,112	81,051
その他	△14,597	△2,908
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,395,846	△3,227,805

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000,000	1,600,000
長期借入れによる収入	10,650,000	10,720,000
長期借入金の返済による支出	△2,601,482	△9,114,896
社債の償還による支出	△160,000	△1,500,000
自己株式の取得による支出	△1,499,731	—
配当金の支払額	△301,595	△292,679
その他	—	△9,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,087,190	1,403,200
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,088,827	1,529,057
現金及び現金同等物の期首残高	5,745,908	5,706,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,834,736	7,235,915

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	調剤薬局 事業 (千円)	医薬品製造 販売 事業 (千円)	労働者派遣 紹介 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	61,095,336	935,939	1,405,867	39,707	63,476,850	—	63,476,850
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,904,015	230,197	5,508	2,139,721	△2,139,721	—
計	61,095,336	2,839,955	1,636,064	45,216	65,616,572	△2,139,721	63,476,850
営業利益又は営業損失 (△)	3,766,182	△690,230	311,730	△60,827	3,326,855	△1,776,036	1,550,819

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	調剤薬局 事業 (千円)	医薬品製造 販売 事業 (千円)	労働者派遣 紹介 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	69,513,366	1,629,431	1,581,859	18,550	72,743,208	—	72,743,208
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,250,242	174,767	7,851	2,432,861	△2,432,861	—
計	69,513,366	3,879,674	1,756,627	26,402	75,176,070	△2,432,861	72,743,208
営業利益又は営業損失 (△)	4,291,652	△89,858	313,550	△2,894	4,512,450	△2,073,581	2,438,869

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店が無い場合、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間において、海外売上高が無い場合、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。